

壬生町新庁舎建設基本計画（案）に対する意見と回答

NO.	意見要旨	関連ページ	意見に対する町の考え方
1	<p>災害に強い壬生町庁舎を目指すにあたり、防災無線のほか、きめ細かな情報を発信するうえで、「臨時災害FM局」が開局できる装置の導入が望ましい。 100年先何が起こるかわからないだけに、安心のひとつとして検討の余地はあると思う。</p>	P8～P11 及びP28	<p>町では、現在、災害時の情報伝達として、防災行政無線による放送・防災行政無線電話応答サービス・防災行政無線メール配信サービスを実施しております。 状況に応じては広報車での広報活動や、消防団が避難地区を一軒一軒訪問するなど、正確に緊急情報をお伝えすることになっております。 県内では、先の関東・東北豪雨時に栃木市で開局され、また、H29の台風21号被害時には小山市で開局され、住民に有効な情報を提供しておりました。 いただいたご意見は、基本計画28ページ「4 設備計画」の「防災通信設備」に関連するものと受けとめさせていただきました。 「防災機能の強化」は新庁舎建設の大きな柱としており、臨時災害放送局の開局も、災害発生時以降の有効な情報伝達手法の一つとして参考にさせていただきます。 貴重なご意見をありがとうございました。</p>
2	<p>ベストな立地条件である。他の地域の住民からも注目を集めることで「新しい壬生町」を印象付けることになると予想する。 文化的要素の集約として図書館機能の移転、大会議室を映画や講演会、町民活動への開放、広域避難場所等として、いかに「常に馴染み深い（易い）」集合体になるかを問い、統計・進化・増強できる新庁舎になることを願う。</p>	P5～P20	<p>「第2章新庁舎の機能」への全般的なご意見として受けとめさせていただきました。 ご指摘の大会議室については13ページの「会議室」の項目に、町民活動への開放については12ページの「協働スペースの設置」の項目に、避難場所という点では、11ページの「避難者等への対応」の項目で、それぞれ検討する旨を記載させていただいております。 その他必要となる機能面についても、他の既存施設との役割分担を十分に勘案しつつ、今後の設計において、十分に検討してまいります。 貴重なご意見をありがとうございました。</p>